

「つながり」を基盤として地域の活力を醸成する社会教育のあり方 ～多様な人々がかかわり合う、包摂的社会づくりをめざして～

一人一人の持てる力を発揮できる社会、活力のある社会を創り出すために！

地域の活性化に求められる社会的包摂

- 普段接することの少ない世代同士を会わせる企画(世代間交流)・行事づくりを展開
- 高齢者、在留外国人、障がいをもつ方々など、住民一人一人を隔てなく地域社会の一員として取り込む取組を展開
- 公民館や市民センター等を地域の活動拠点として利用し地域社会への関わりを引き出す取組を展開

お互いさまの精神

「困難を抱えた誰か」の問題ではなく、自らが属するコミュニティの問題として捉え、責任を持って向き合っていく(=社会的成熟)。



キーワードは「社会的包摂」！

地域の活性化に繋がる活動の視点

地域課題の解決に向けて、地域人材等の資源活用を図るための情報発信や、学習機会創出のための社会教育施設整備

包摂的社会を支える社会教育行政の役割

- 1 地域の活性化につながる社会教育行政の方向
- 2 学校・地域の連携と人材の育成
- 3 社会教育施設の活用
- 4 広報活動の重要性



■現代的課題の克服に向けた指針

- 生涯にわたって学び続けることのできる学習環境づくりと安心して子供を育てられる環境整備
- 少子・高齢化による地域コミュニティの担い手不足を克服するための地域住民による「つながりづくり」の推進
- ヒト・モノ・資本が自由に往来するグローバル化した社会における在留外国人等を包含した包摂的社会づくり
- 学校教育と社会教育が協働した郷土に対する愛着や誇り、帰属意識の醸成
- 地域住民が有機的に結びつき、地域の持つ課題を自らの課題と捉えることのできる活力あるコミュニティづくり